令和8年(2026)第509号

北図書館だより　11月号

ほうれんそう

尼崎市立北図書館
尼崎市南武庫之荘3－21－21
TEL(06)6438－7322

図書館HP　インスタグラム

～お知らせ～

●特別整理及び、システムメンテナンスに伴う休館:12月4日(金)～10日(木)まで
●年末年始の休館:12月28日(月)～令和9年1月4日(月)まで
上記休館に伴い、11月20日(金)～12月27日(日)は貸出期間3週間・貸出上限30冊となります。

新・尼崎の本棚　153

尼崎とダンスホール

大正9(1920)年、日本初のダンスホールが神奈川県で開場してから日本にダンスホール文化が広がり始めます。ダンスホールは、娯楽の少なかった1920～30年代、都会のおしゃれでモダンな若者たちが集う社交場でした。しかし、男女が抱き合って踊ることから規制は厳しく、昭和2(1927)年には大阪で営業が全面禁止されました。

大阪を追われたダンスホールは兵庫県などへ移り、尼崎の阪神国道沿いにも4軒が進出しました。大阪からの利用者も多く、兵庫県下でも最大規模を誇りました。当時の尼崎は、実はちょっとした「ダンスの街」でした。著名な作家や俳優も訪れ、三島由紀夫の『奔馬』にも「杭瀬のホール」として登場するなど、広く知られた社交場だったことがうかがえます。

しかし昭和15(1940)年、政府の命令で全国のダンスホールが廃止され、尼崎の4軒も廃業しました。現在、建物は残っていませんが、図書館にある写真集や当時の資料をたどれば、かつて尼崎にあった華やかなダンスホールの姿を知ることができます。

参考図書:『地域史研究　第122号』尼崎市立歴史博物館/編集発行
『遊郭・花柳界・ダンスホール・カフェーの近代史』小針　侑起/著　河出書房新社/発行
『奔馬』三島由紀夫/著　新潮社/発行

開館カレンダー

11月

日	月	火	水	木	金	土
①	2	③	4	5	6	7
⑧	9	10	11	12	13	14
⑮	16	17	18	19	20	21
㉒	㉓	24	25	26	27	28
㉙	30					

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
⑬	14	15	16	17	18	19
⑳	21	22	23	24	25	26
㉗	28	29	30	31		

開館時間
火～土　9:00～20:00
日・休日　9:00～17:15
貸出時間
9:00～閉館15分前
休館日　■印の日

今月の展示

1階

一般室【北図書館のおすすめ本ポップ】
北図書館員が選んだおすすめの本にポップをつけて紹介します。

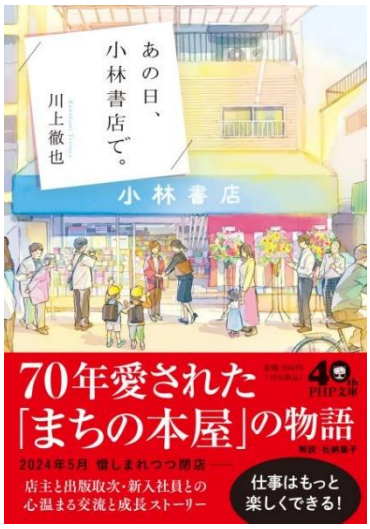
ロビー展示【さとおやってなあに？】
子どものための大切な制度について理解を深めるための本を集めました。

2階

アオハル【読書、最強か。】
未来の設計図。世界を広げる視点など8つのテーマでアオハル世代のみなさんにおすすめする本をご紹介します。

参考【図書館でみる平成レトロ】
令和となり数年、平成も懐かしまれる時代となりました。平成初頭のトレンドやポップカルチャー、時代を感じられる本を集めました。

今月の一冊



『あの日、小林書店で。』
川上 徹也／著　　イラスト／わみず
PHP 研究所

尼崎市立花に実在し、2024 年 5 月 31 日に惜しまれつつ閉店した小林書店（通称：コバショ）の店主である小林由美子さんと出版取次の新入社員が織りなす「ノンフィクション＆ノベル」。
2020 年 12 月ポプラ社から出版された『仕事で大切なことはすべて尼崎の小さな本屋で学んだ』を改題・加筆し、書き下ろし「5 年後、あの日の続き」を収録。

イベント情報

大人のための朗読会

ボランティア「グループ ま・どんな」さんによる朗読会。毎月第3水曜日に開催（8月はお休み）
【日時】11月18日（水） 午後2時から1時間ほど
【場所】3階 集会室
【内容】・古典落語より、「死神」
・『茗荷谷の猫』より、「染井の桜」 木内 昇／著
【申込】不要